

2016年7月25日

記者各位

アストモスエネルギー株式会社

**新パナマ運河の商業船通過第1号船が
無事、日本の港で揚げ荷役を完了しました**

当社(本社:東京都千代田区 社長:増田宰)が日本郵船株式会社から定期用船している大型LPG(液化石油ガス)運搬船「Lycaste Peace (リカステ・ピース、三菱重工業株式会社長崎造船所にて建造)」は、6月27日に商業運用が始まった新パナマ運河を世界で最初に通過し、7月22日に東京ガス株式会社根岸LNG基地で無事、LPGの揚げ荷役を完了しました。

同船は、米国メキシコ湾岸での積荷役後、29日間で日本に到着しました。従来、米国メキシコ湾岸積みの大型LPG船は、アフリカ南端(喜望峰)を回って日本に向かうため、到着に45日程度の日数が掛かりましたが、新パナマ運河を通過することで、30日以下に短縮されたこととなります。

当社は引き続き調達先の多様化を進め、日本向けLPGの安定供給を図って参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】
経営企画部 栗谷 電話:050-3816-0720
e-mail:keisuke.kuritani@astomos.com
URL:<http://www.astomos.jp>



【新パナマ運河を通過する本船:2016年6月27日】



【東京ガス株式会社根岸 LNG 基地で揚げ荷役をする本船:2016年7月21日】